

領域4 インフォーマルミーティング議事録(案)

白石賢二(領域代表)

2012年3月26日 17:00-18:30 CE会場

代表 : 白石賢二(筑波大)

副代表 : 澤田安樹(京大低温セ)

運営委員 : 泉田渉(東北大院理)、小島磨(神戸大院工)、太田剛(物基研)(~2012.4)

加藤岳生(物性研)、森山悟士(物材機構)、瀬川耕司(阪大産研)(~2012.10)

【報告事項】

- ◆ プログラム小委員会・領域委員会(2011.11.21開催)
 - ✓ 2012年年会秋季大会の招待・企画・チュートリアル・シンポジウム講演の検討と採択(物性領域)
 - 招待講演(領域4なし)
14件提案、14件採択
 - 企画講演等(領域4なし)
企画講演 : 6件提案、6件採択
チュートリアル講演 : 1件提案、1件採択
 - シンポジウム講演
19件提案、18件採択、1件取り下げ
領域4からは1件提案したが、重複規定の抵触により取り下げ
(再度2012年秋季大会で提案を予定。後述。)
 - ✓ 追加講演について
判断の仕方、追加講演の締切などについて、担当理事・事務局で検討

- ◆ プログラム編集会議(2011.12.9開催)
 - ✓ 領域4の講演155件(理論60件、実験91件)
 - ✓ グラフェン合同セッションについて
 - 合同セッションを希望する/しないにかかわらず、すべて領域7との合同セッションとした
 - (領域4主催、領域7共催)「磁場効果」領域4は10件、領域7は2件
 - (領域4主催、領域7共催)「界面・不純物・伝導特性」領域4は6件、領域7は6件
 - (領域7主催、領域4共催)「グラファイトリボン」領域4は4件、領域7は7件
 - (領域7主催、領域4共催)「構造」領域4は1件、領域7は9件

【討議事項】

- ◆ 次期、次々期運営委員：ご紹介と承認
次期委員（2012.4～2013.3）の渡辺信嗣（JST・ERATO）、長谷川尊之（兵庫県立大）、橋坂昌幸（東工大）が紹介された。
次々期委員（2012.10～2013.9）は、鈴木秀勝（北大）、横山毅人（東工大）、青木伸之（千葉大）が推薦され、了承された。

- ◆ 領域番号から略称名（5文字以内）への変更について
 - ✓ 「半導体・メゾ」「半導体」「量子輸送」「メゾ系」などを素案にする。
 - ✓ 5文字以内の制約を緩和してもらえないか交渉する。
 - ✓ 24文字の領域説明については、担当を決めてたたき台を作る。

- ◆ キーワードについて
2012年春の物理学会からキーワードが大きく変更となった。キーワード変更一覧と講演者数の統計を見ながら、再改訂が必要となりそうなキーワードについて、議論を行った。その結果、以下のことが了承された。
 - ✓ 第一キーワードについては、「磁性半導体」と「半導体スピン物性」を「半導体スピントロニクス」とし、第三キーワードに「磁性半導体」「スピン軌道相互作用」を加える。
 - ✓ 第三キーワードは、メーリングリスト上で継続審議する。

- ◆ シンポジウムの提案について
 - ✓ トポロジカル絶縁体・超伝導体のシンポジウム（第一候補）
 - 前回、取り下げとなったが、内容には問題がないので、再度提案する。
 - 今度の提案者は、加藤岳生（東大物性研）とする。その他、座長を少し変更する。
 - ✓ 揺らぎのシンポジウム（第二候補）
 - 現時点での案が説明された。
 - 海外の研究者を呼ぶための旅費が工面できないか。

- ◆ グラフェンの合同セッションについて
 - ✓ 今後も合同セッションを希望する／しない、にかかわらず、グラフェン関連の講演は領域7との合同セッションとする方向で、プログラム編成をする。
 - ✓ 領域7運営委員と綿密にやりとりをする必要がある。
 - ✓ プログラム編成の自由度が下がることは覚悟する。
 - ✓ 部屋割の段階で、合同セッションを想定して部屋をとる。